

# 令和2年度教育研究業績書

氏名 吉村 治正

最終学歴	Department of Sociology, the University of Chicago.	
取得学位	Ph.D.	
所属学会	日本社会学会、日本行動計量学会、経済社会学会、American Sociological Association.	
専門分野	社会学、社会調査論、社会学方法論、職業社会学	
研究課題	中規模に適正化された社会調査データの収集と分析、労働市場形成過程の分析	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会学(一)・(二)</li> <li>・社会調査法</li> <li>・地域社会学</li> <li>・量的分析法</li> <li>・社会調査実習(一)</li> <li>・演習 I ~IV</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会文化研究演習 I ~ IV (令和2年度不開講)</li> <li>・社会学特論 I・II (令和2年度不開講)</li> <li>・社会調査法特論(令和2年度不開講)</li> <li>・多変量解析特論(令和2年度不開講)</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会学基礎</li> </ul>
【研究上の特記事項】	平成30～令和2年度文部科学省科学研究費(基盤研究B)『内閣府世論調査の測定誤差の研究』(課題番号18H00940)研究代表者	
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】		
【学内活動】 (学内職歴を含む)	総合社会学科主任、社会調査協会連絡責任者	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
(学術論文)				
①「ウェブ調査の結果はなぜ偏るのか」	単著	2020年6月	『社会学評論』、第71巻1号	ウェブ調査の偏りに関する研究
②				
③				
④				
(学会発表)				
①M.C.Elmerと戦間期シカゴ社会学におけるsurvey researchの評価		2020年10月	日本社会学会大会	1920年代アメリカ社会学の学説史研究
②				
③				
④				
(その他)				
①Study of measurement errors of Cabinet Office opinion survey		2021年2月	Impact, 2021(2)	(研究紹介)
②『緊急事態宣言時6割超が通勤通学』(週刊大阪日日新聞京阪版・キタ版)・『外出自粛好影響4割』(毎日新聞奈良版)		2020年12月	12月26日(週刊大阪日日新聞)・12月27日(毎日新聞)	(奈良市調査の一部の新聞紹介)
③				
④				